事務事業調書	No	711	課 名	給食課	起 案 者	稲垣智昭
平成23年度			係 名	庶務係	決 裁 者	岩瀬愼次
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	14, 19, 21, 29
事務事業名	給食共同調理場運営事業				他 係名	北部調理場, 中部調理
					他係 業務一覧No	北部調理場(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7,

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-35
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	学校教育法・学校給食法・学校保健法	
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体,(施設管理協会)
実施期間	開 始	経 過	終 了	期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	園児・児童・生徒のみなさんが	～になる	安全・安心・安定的に給食が食べられるよう努めます。
事務事業の内容	献立作成、給食物資の検討・選定、給食調理・配送業務のサイクルを毎日回しながら不備な点のチェック、異物混入に対する調査対策を行っていきます。			
事務事業進捗状況	・異物混入については年々減っています。 ・クレームについても年々減っています。			
改善・対策の履歴	・食材の異物混入事案のあった業者について、卸業者からの報告書を提出させました。 ・必要と判断した場合は立入検査や指導を行い、是正に努めました。 ・場内での異物混入については、調理員への指導、グループでの話し合いを行い、大きく減らしました。			
環境配慮の視点	環境目標〇－基本的施策〇－具体的施策〇			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		516,592	491,829	578,034	554,534	603,107	580,551	566,731
	財源計 a		497,767	473,004	561,468	537,968	586,541	563,985	566,731
	財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	497,767	473,004	561,468	537,968	586,541	563,985	566,731
	受益者負担金		0	0	0	0	0	0	0
	職員人件費 d		18,825	18,825	16,566	16,566	16,566	16,566	0
	内訳	従事職員数	2.50	2.50	2.20	2.20	2.20	2.20	0.00
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	給食物資検収	見込(単位)	191.00	187.00	188.00	0.00
				実績b(単位)	191.00	187.00	188.00	
		指標名(単位)	給食実施(日)	活動の総事業費f 実績	6,657	2,259	2,259	
				単位コストg=f÷b 実績	34.85	12.08	12.02	
	活動②	活動名（活動内容）	給食調理	見込(単位)	4,307.00	4,329.00	4,330.00	0.00
				実績b(単位)	4,246.00	4,133.00	4,200.00	
		指標名(単位)	調理食数(千食)	活動の総事業費f 実績	483,666	550,769	576,786	
				単位コストg=f÷b 実績	113.91	133.26	137.33	
	活動③	活動名（活動内容）	衛生講習	見込(単位)	161.00	185.00	185.00	0.00
				実績b(単位)	163.00	163.00	185.00	
		指標名(単位)	参加人員(人)	活動の総事業費f 実績	1,506	1,506	1,506	
				単位コストg=f÷b 実績	9.24	9.24	8.14	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	異物混入苦情件数(回)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	45.00	31.00	21.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値 0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		配送業務遅配苦情件数(回)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	2.00	0.00	0.00	
			達成状況	未達成	達成	達成	
		目標成果指標値 0.00	目標達成年度				

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・異物混入についてもクレームについても、２２年度は件数を減らすことができました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位ｺｽﾄ	・検収、調理にあたっては、調理場長、栄養士の指導により各調理工程で異物混入の防止に努めました。 ・衛生講習等により調理員の衛生意識の向上に努めることが出来ました。 ・配送業者の意識が高くなりました。
	成果1，2	・異物混入の年度対照表を作ったことで、意識が高くなりました。 ・業者の現場調査も積極的に行いました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・給食物資に問題があった場合は、速やかに業者への調査を行い指導を徹底します。 ・調理作業での問題については、調理員自らの発案による改善策を含め検討実施します。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	南部・中部調理場の整備により、給食事業における衛生環境の充実が図られることから、より衛生的で安全かつ効率的な運営管理ができるよう調整を図ります。